

令和3年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市道の駅 甲斐大和			検証日	令和4年7月8日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	志村 裕喜	作成者名 金子 猛	
	指定管理者	名称	株式会社 エープレイス				
		代表者	代表取締役 手塚 公彦				
		所在地	山梨県甲州市大和町初鹿野1811番地				
		指定期間	令和3年(2021年)4月 ~ 令和6年(2024年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町初鹿野2248番地				
		設置目的	地域産業の振興と市民の福祉の向上を図るために、広く一般の休憩のための施設として、道の駅を設置する。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	13名	開館日時間等	9:00~18:00 ※夏季売店のみ営業 (毎週水曜日・年末年始・臨時休館を除く) ※9:00~17:00 (令和3年8月7日~9月12日、令和3年10月12日~令和4年2月28日の期間)
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)道の駅甲斐大和外1施設のそれぞれの設置及び管理条例に定める設置目的達成の実施に関する業務 (2)道の駅甲斐大和外1施設の施設等の維持管理及び修繕に関する業務 (3)道の駅甲斐大和外1施設の利用の受付及び案内に関する業務 (4)道の駅甲斐大和外1施設の利用の許可に関する業務 (5)道の駅甲斐大和外1施設の利用の促進に関する業務 (6)その他の日常業務					
	自主事業	(1)そば切り発祥の郷づくり事業 (2)うらじろ(オヤマボクチ)を使った特産品開発 (3)観光イベント出店					

DO	管理運営コスト推移(千円)		令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	〇〇年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)	
	予算	指定管理料	2,850					
		利用料金収入	127,360					
		その他収入	1,885					
		管理運営経費	132,095					
	決算	指定管理料	2,850					
		利用料金収入	128,746					
		その他収入	3,304					
		管理運営経費	134,383					
		収支	517					
	施設の稼働状況	令和3年度 (指定期間1年目)	令和4年度 (指定期間2年目)	令和5年度 (指定期間3年目)	〇〇年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)		
指標	施設利用者数(人)	109,761						
	活動結果	4月から7月は売上、来客数とも増加しコロナ禍前の水準が視野に入るまでの回復を見せていたが、8月のお盆前に県内のまん延防止等重点措置が適用されたことで軽食コーナーを9月末まで休業することになった。その後、山梨グリーンゾーン認証を受け、席数を減らしての営業となりコロナ禍前の60%の目標を達成することはできなかった。						

CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
	(1)事業の運営	4	・協定書通り適正に管理運営されている。 ・食堂を外部委託とし、3年間に渡って自立支援をしている。その甲斐もあり受託業者の営業努力によって、コロナ禍前を上回る来客数、売上を記録する月もあった。そば処としてのブランド化に貢献している。
	(2)施設の維持管理	4	・日常点検、法定点検等着実にやっている。 ・職員の朝礼の実施、定期的なミーティング、他の道の駅の視察などの職員研修も実施している。 ・コロナ禍により軽食コーナーは山梨グリーンゾーン認証を受け、コロナ感染に気を付けて営業をしている。
	(3)収入支出	3	・スタッフの減少や代表の疾病のため当初の事業計画通りに営業を行うことができなかった。 収入面では軽食コーナーの休業やコロナ対応による席数の減少が大きく響いている。支出では1年を通じてシルバー人材センターへ委託し、その部分の経費が昨年度よりかかっている。
	(4)総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)
	優良 良好 妥当 要改善 不適	良好	・昨年度より収支は減少したが、コロナ禍の状況では健闘している。特産品の開発や宣伝等努力しており、適正な運用ができています。

ACTION	評価結果に対する今後の対応	
	当面の課題	・施設も県内で2番目に古い道の駅となるため、老朽化が進んでいる。施設及び設備の更新と修繕が増えることが予想される。
	課題解決への対応	・日常点検、法定点検等を着実に早期に対応する事により修繕費用を抑えるよう努める。また、観光商工課と協議し更新及び修繕を行う。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

- ・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。
- ・コロナ禍の中で、観光施設として、集客や経費削減等の努力により、黒字経営としているところは評価できる。引き続き、適正な収支管理をしていただきたい。
- ・食堂を外部委託とし、自立支援をすることによって受託業者の営業努力を評価できる。
- ・そばやうらじろ等の特産品の宣伝等にも努力していただけており、地域産業の振興と住民福祉の向上に大きく貢献している。
- ・引き続き、コロナ対策を行う中で、適切な運営を行っていただきたい。